

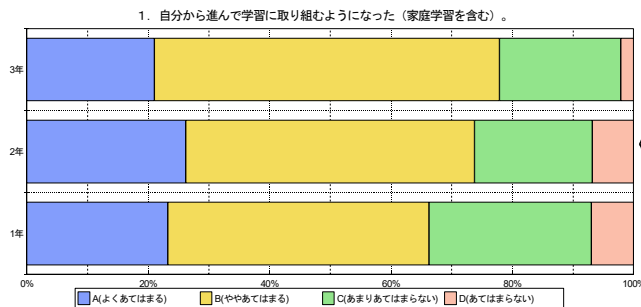
令和4年度 より良い学校づくりを目指すアンケート結果と次年度の方向性について

11月末に実施した標記アンケートにつきまして、結果をお知らせいたします。今年度の保護者アンケートの回答率は80.6%（昨年比+1.8%）でした。保護者の皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

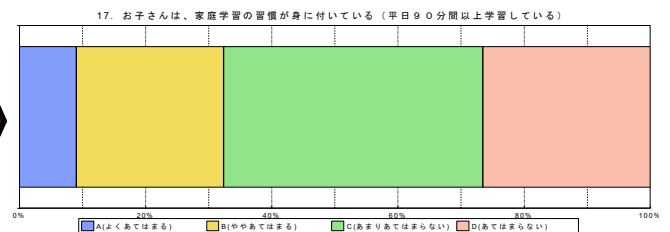
学校では、職員による自己評価や保護者及び生徒アンケートの結果を基に総合的に考察し、次年度（令和5年度）の教育活動の方向性についても検討しましたので、併せてお知らせします。

1 学習面

◎生徒アンケート結果

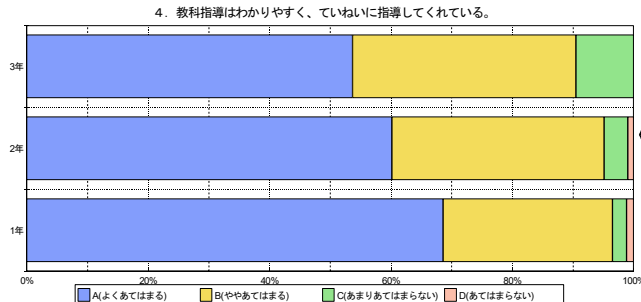


◎保護者アンケート結果

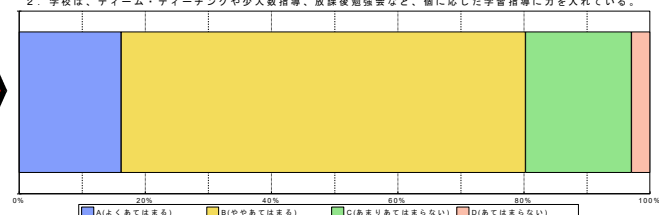


生徒は7割以上の生徒が進んで学習に取り組むようになってと回答しているのに対し、お子さんは家庭学習習慣が身に付いていると回答した保護者は4割強に止まっています。

◎生徒アンケート結果

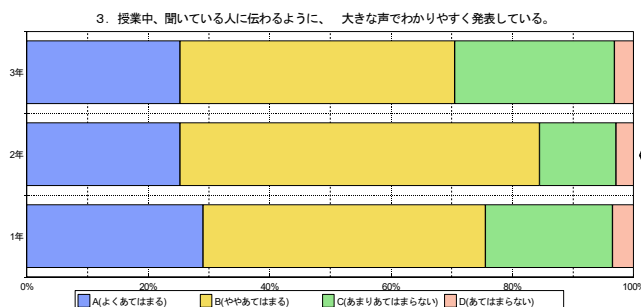


◎保護者アンケート結果

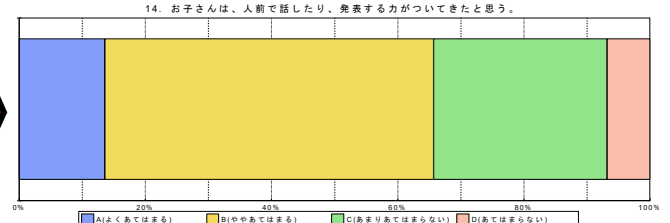


9割以上の生徒が教科指導はわかりやすく、ていねいな指導をしてくれていると回答していますが、学習指導に力を入れていると回答した保護者は8割弱に止まっています。

◎生徒アンケート結果

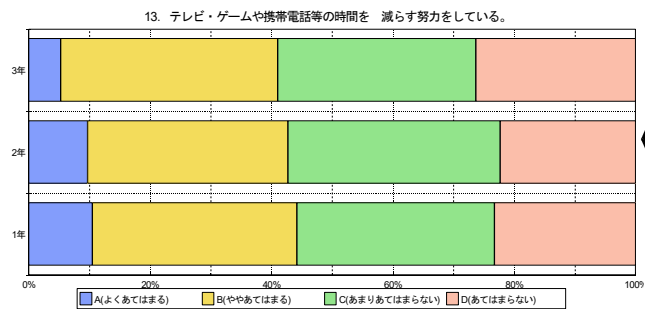


◎保護者アンケート結果

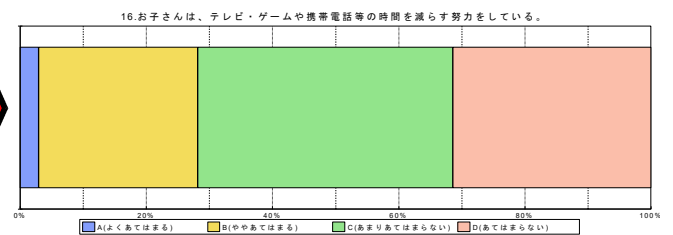


「表現・思考・判断」は学習指導要領で示されている確実に身に付けさせるべき資質・能力の1つです。わかりやすく発表できていると回答している生徒は7～8割程度であり、発表する力が付いていると回答した保護者も7割に満たない状況です。主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業改善を進めます。

◎生徒アンケート結果



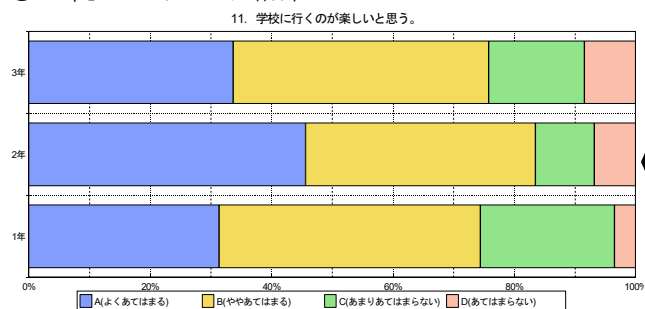
◎保護者アンケート結果



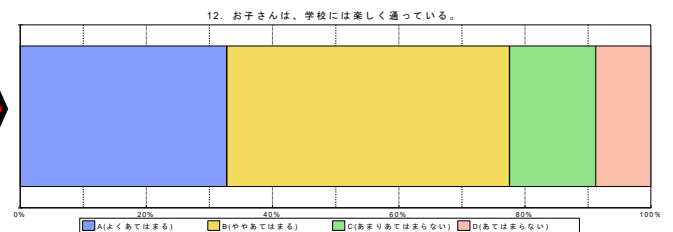
テレビやゲーム、携帯電話の利用時間を減らす努力をしていると回答した生徒は4割程度であり、子どもがテレビやゲーム、携帯電話の利用時間を減らす努力をしていると回答した保護者も4割未満でした。

2 生活面

◎生徒アンケート結果

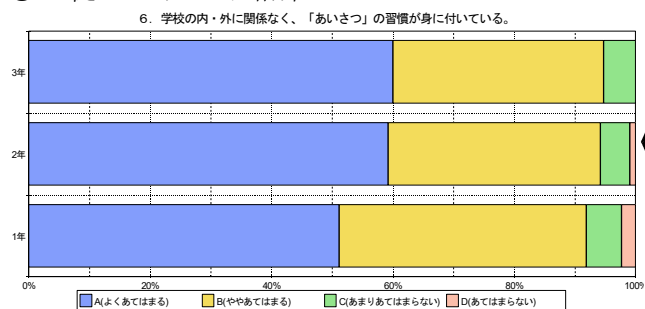


◎保護者アンケート結果

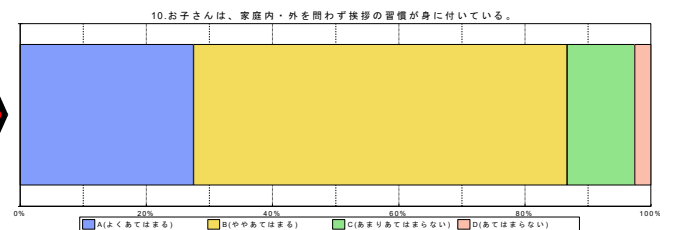


学校に行くのが楽しいと回答している生徒は7～8割程度であり、子どもが楽しく学校に通っていると回答した保護者は8割未満でした。

◎生徒アンケート結果

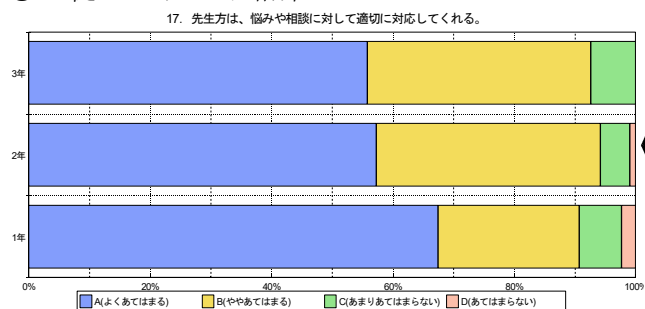


◎保護者アンケート結果

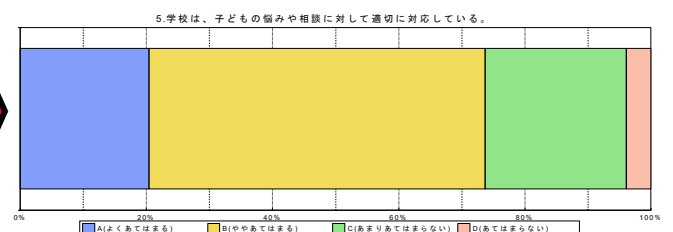


挨拶は、生徒の9割以上、保護者の8割以上が身に付いていると回答しており、挨拶の習慣化が進んでいることが分かります。

◎生徒アンケート結果

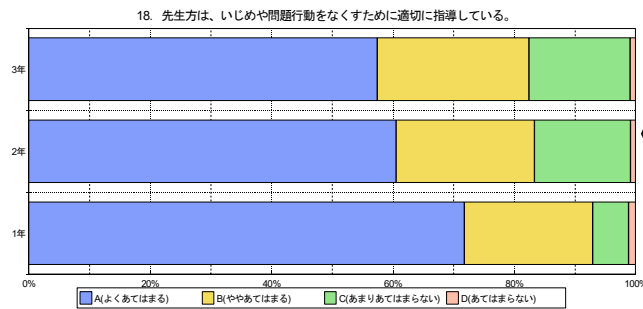


◎保護者アンケート結果

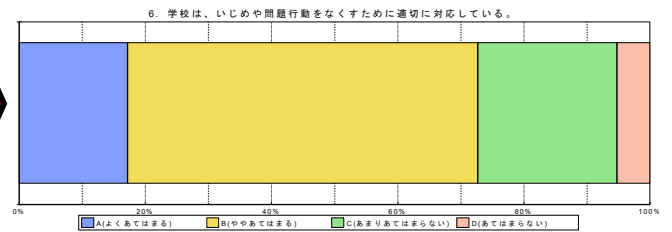


先生方は悩みや相談に適切に対応しているかという問いに、生徒の9割は対応していると回答していますが、保護者からは7割強に止まっており、丁寧な対応及び保護者との連携を密にする必要があると考えます。

◎生徒アンケート結果

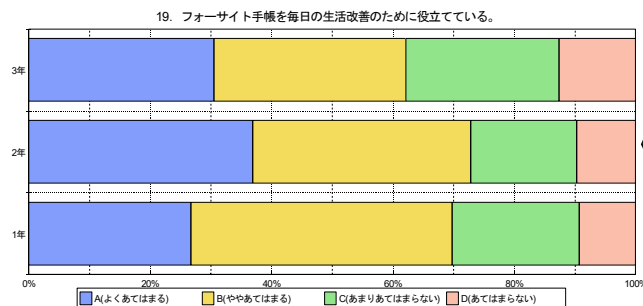


◎保護者アンケート結果

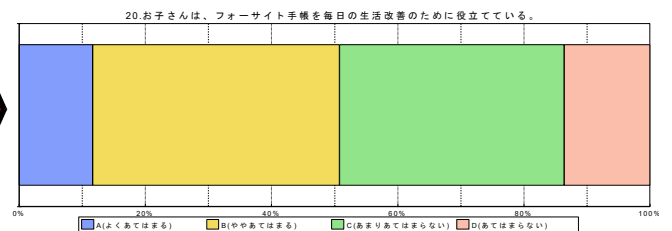


先生方はいじめや問題行動に適切に対応しているかという問いに、生徒の8割以上が対応していると回答していますが、保護者からは7割強に止まっており、学校として迅速・丁寧な対応及び説明、より一層の保護者との協力体制の構築が重要であると考えます。

◎生徒アンケート結果

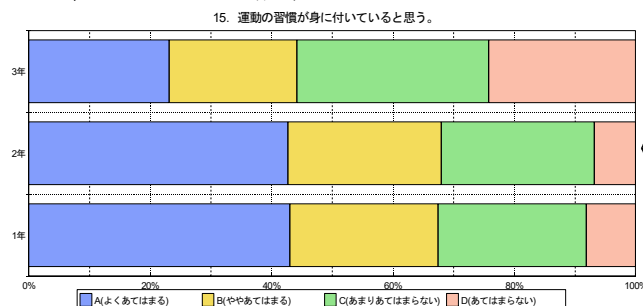


◎保護者アンケート結果

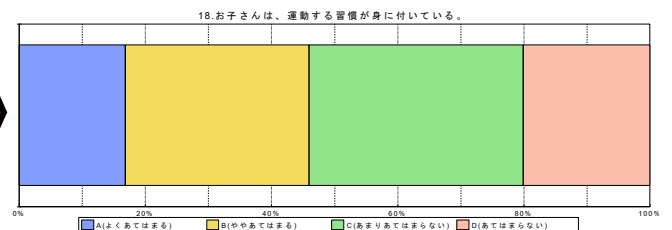


フォーサイト手帳を生活改善に役立てていると回答した生徒は全体の7割未満に止まっている。また、保護者の回答も約5割となっており、活用の仕方の見直し、あるいは活用の是非について改めて見直すべきと考えます。

◎生徒アンケート結果

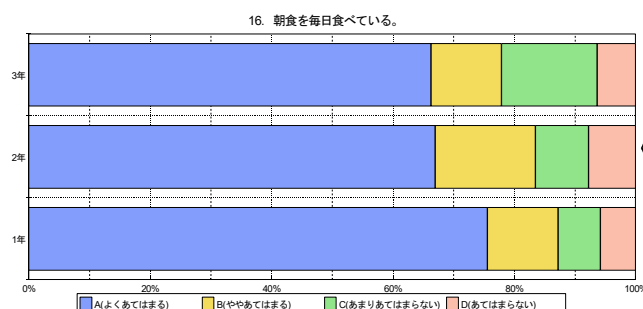


◎保護者アンケート結果

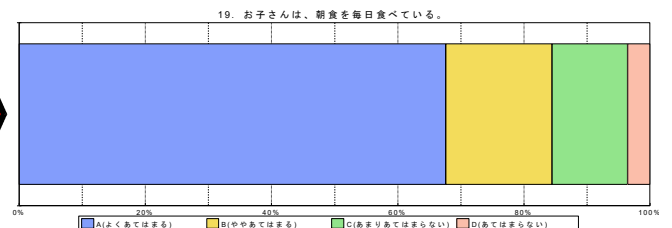


運動習慣については、3年生は部活動の引退に伴い、運動する時間が減少していることが予想されます。1, 2年生で運動習慣が身に付いていると回答している生徒は7割弱に止まり、保護者の回答も5割に満たない結果となっています。体力向上に向けた継続的な取組が必要であると考えます。

◎生徒アンケート結果



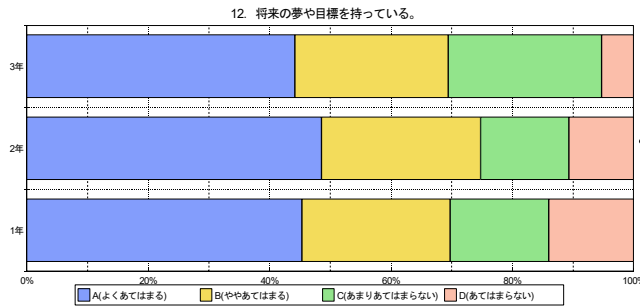
◎保護者アンケート結果



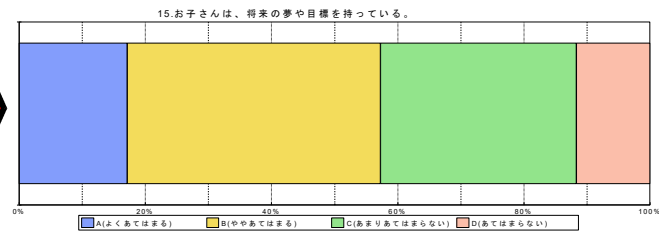
生徒、保護者とも毎朝、朝食を食べていると回答している割合は8割を超えており、生活習慣が整っていることがうかがえます。朝食は脳や筋肉の重要なエネルギー源であり、体調を整える重要な役割があります。生徒アンケート結果で、学年が上がるにつれ割合が減っていることが心配です。

3 生徒の自己肯定感

◎生徒アンケート結果

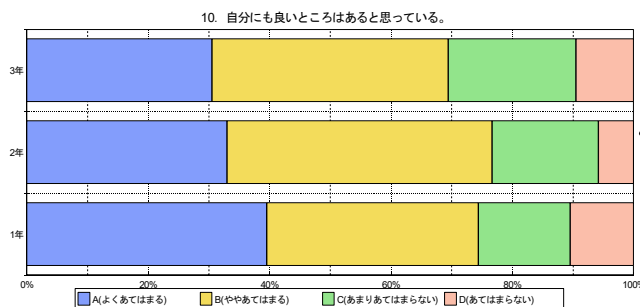


◎保護者アンケート結果

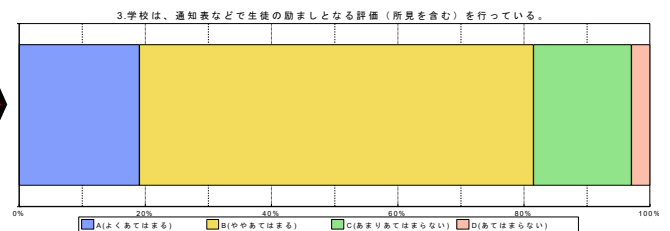


将来の夢や希望をもっている生徒は7割前後に止まっており、保護者の回答も7割未満であることから、キャリア教育や進路指導のさらなる充実が必要であると考えます。

◎生徒アンケート結果



◎保護者アンケート結果



自分にも良いところはあると思っている生徒は7割前後に止まっている。また、学校は通知表などで生徒の励ましとなる評価を行っているとは回答した保護者は8割強である。令和4年度の重点取組事項『『良さを伸ばす』視点に立った教育活動の充実』の更なる充実が必要と考えます。

4 次年度の方針について

上記のような結果を受け、本校で育成を目指す生徒像を次のように設定します。

～「良さを伸ばし、社会と向き合える生徒」～

【育成のための3要素】

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 学び続ける | ：キーワード「実感・学ぶ意志」 |
| 2 感謝の気持ちをもつ | ：キーワード「挨拶・ありがとう」 |
| 3 自己肯定感をもつ | ：キーワード「やりがい・達成感」 |

この目標の達成に向けた教育活動を展開するために、令和5年度は次の3点を基本方針とします。

- (1) 生徒の夢を育む
- (2) 学校力を高める
- (3) 地域とともにある

生徒の良さを伸ばす視点に立った教育活動を充実させ、教職員一丸となって生徒の可能性を最大限引き出せるよう努めて参ります。今後とも保護者及び地域の皆様のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。